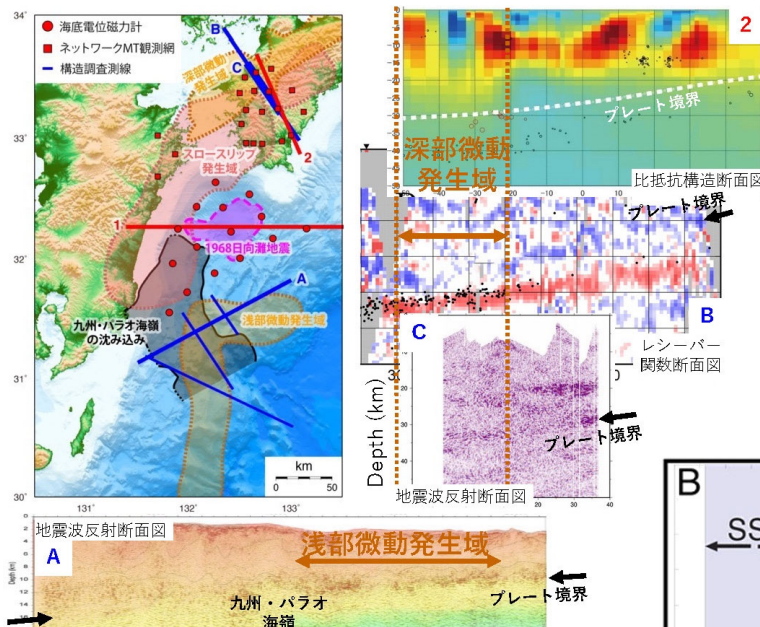


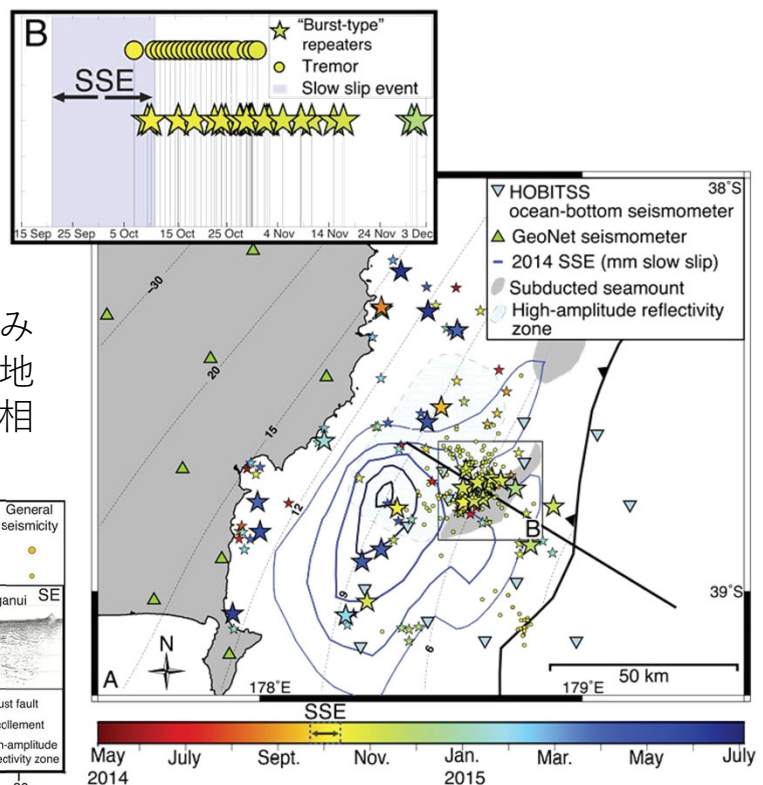
# スロー地震の地球物理学的発生環境 ～プレート境界周辺構造と流体分布～

望月 公廣 (東京大学地震研究所)

- ✓ 豊後水道周辺やNZヒ克蘭ギで、地震学・電磁気学的観測や構造調査を実施し、多様なプレート境界断層すべり運動の発生メカニズム解明のための研究を行ってきた。
- ✓ プレート境界の深部・浅部によらず、スロー地震発生域と流体の分布に相関が認められる。
- ✓ プレート境界浅部における高解像度の構造からは、沈み込むプレート境界周辺構造と流体の分布との関係について、詳細な議論がなされ始めている。
- ✓ 地震学・電磁気学的モニタリングによる、構造の時空間変化とスロー地震発生との関係について調査が進められている。



豊後水道周辺で実施された地震学・電磁気学的観測や構造調査で得られたプレート境界周辺までの構造と、テクトニック微動発生域



ヒ克蘭ギ沈み込み帯における沈み込み構造と、テクトニック微動および相似地震の時空間分布 (丸印：微動, 星印：相似地震)

